

3. 新町・古町地区の町並みづくりの基本方針

町並みづくりにあたっては、城下町としての歴史、点在する町屋などの特徴を活かし、現代の生活の場として、また来街者を迎える場としての町並みづくりを進めるために、以下に新町古町地区の町並みづくりの基本方針を示します。

◆町並みづくりの基本方針

- ❖ 城下町の歴史を感じさせる新町・古町の町屋を大切にしたい。
- ❖ 住民の心づかいで、城下町の風情が感じられる町並みを育てたい。
- ❖ 古いものと新しいものが調和する町並みを創っていききたい。

【城下町の風情とは】

風情とは、風雅な趣、味わいのある感じで、日本古来より存在する美意識のひとつであり、長い時間を経て、自然によりもたらされる物体の変化や日本の四季が造り出す儂^{はかな}く、質素なもの、空虚なものの中にある美や趣、情緒を見つけ、心で感じること。

城下町の風情とは、城下町400年の長い歴史を感じさせるような、落ち着いた建物の意匠形態、しっとりとした建物の色彩及び自然素材、味わいのある看板や暖簾、潤いを感じさせる植木や草花などの視覚によるもののほか、人々のざわめきや風鈴、寺院の鐘の音などの聴覚、お香の香り、打ち水の涼しさ等、人々に安らぎ、懐かしさ、落ち着きをもたらす町全体としての雰囲気。

- ◆ 参考 新町・古町地区のまちづくり計画の方針等について
 - ❖ 「熊本市景観計画」都市型居住景観形成ゾーンの景観形成方針より
 - ※ 城下町の趣が残る場所は、歴史的資源を生かし、歴史を感じられる景観形成を図ります。
 - ❖ 「熊本市中心市街地活性化基本計画」の活性化の基本方針より
 - ※ 人々が活発に交流しにぎわうまちづくり
 - ※ 城下町の魅力があふれるまちづくり
 - ❖ 「熊本市第2次住宅マスタープラン」の住宅政策の目標より
 - ※ 少子高齢社会に対応した住まいづくり
 - ※ 地域性を活かした住まいづくり
 - ◇ 歴史や自然と調和し都市景観に配慮した街並みづくり
 - ◇ 中心市街地における都心居住の促進



新町の町屋



古町の町屋



高山市

のれん、バンコ、季節を感じさせる花などの飾り



古町



古いものと新しいものが調和した町並み (修景イメージ図)